

VALUX・BizHawkEyeにおける代行利用について


2021年12月  
株式会社NTTデータ  
e-ビジネス事業部

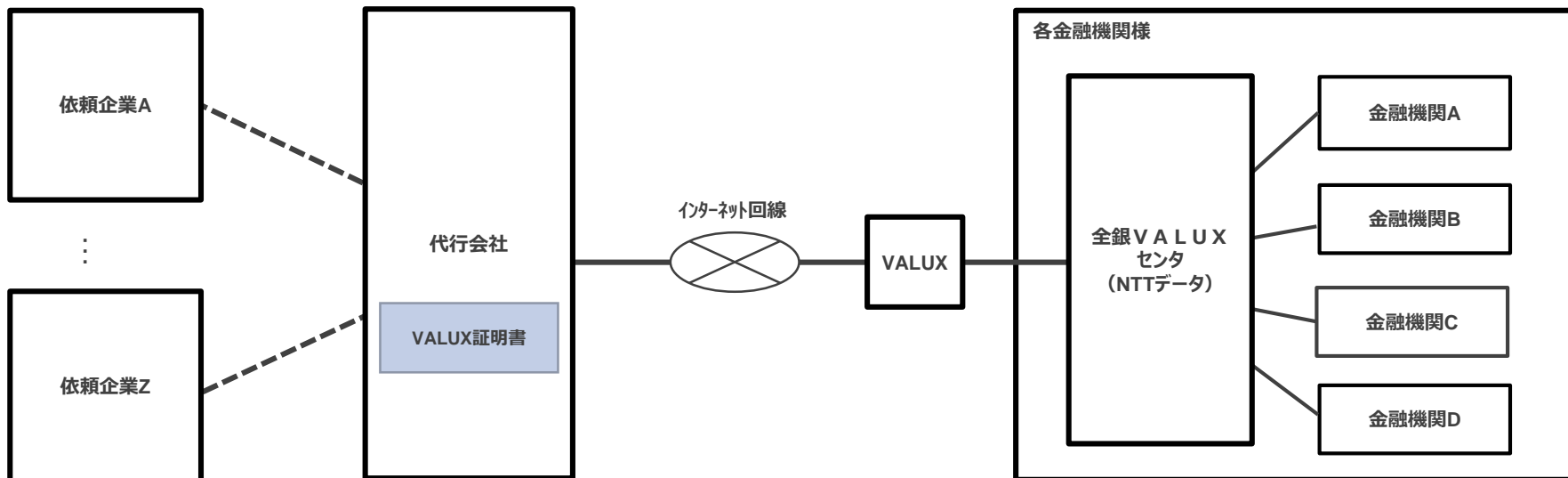
# 代行利用について <概要>

各契約におけるサービスの利用可否は以下の表のとおりです。

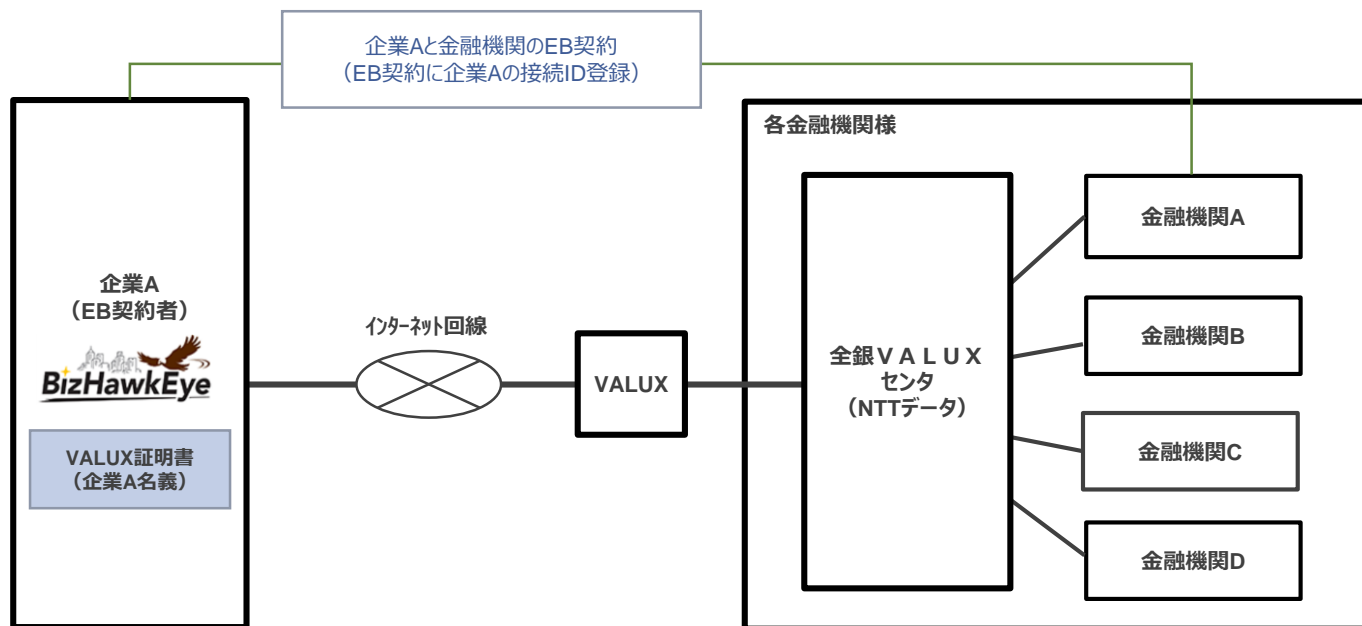
代行会社：依頼企業のファイル伝送等の取引を代行で行う会社

依頼企業：自社のファイル伝送等の取引を代行会社へ依頼する企業

	代行スキーム		
	①	②	③
VALUX契約者	代行会社	依頼企業	代行会社
各金融機関とのEB契約者	代行会社	依頼企業	依頼企業
利用可能サービス			なし

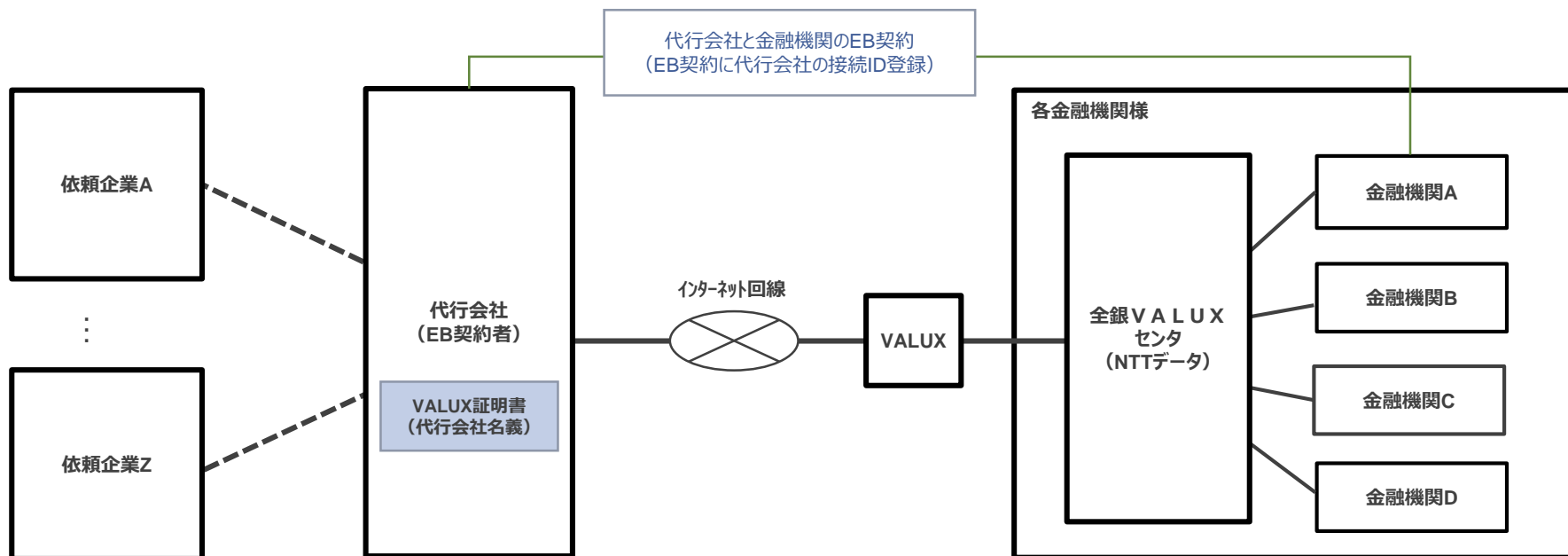


# 参考 BizHawkEye通常利用のイメージ図



# 代行スキーム①「VALUX契約者：代行会社 EB契約者：代行会社」

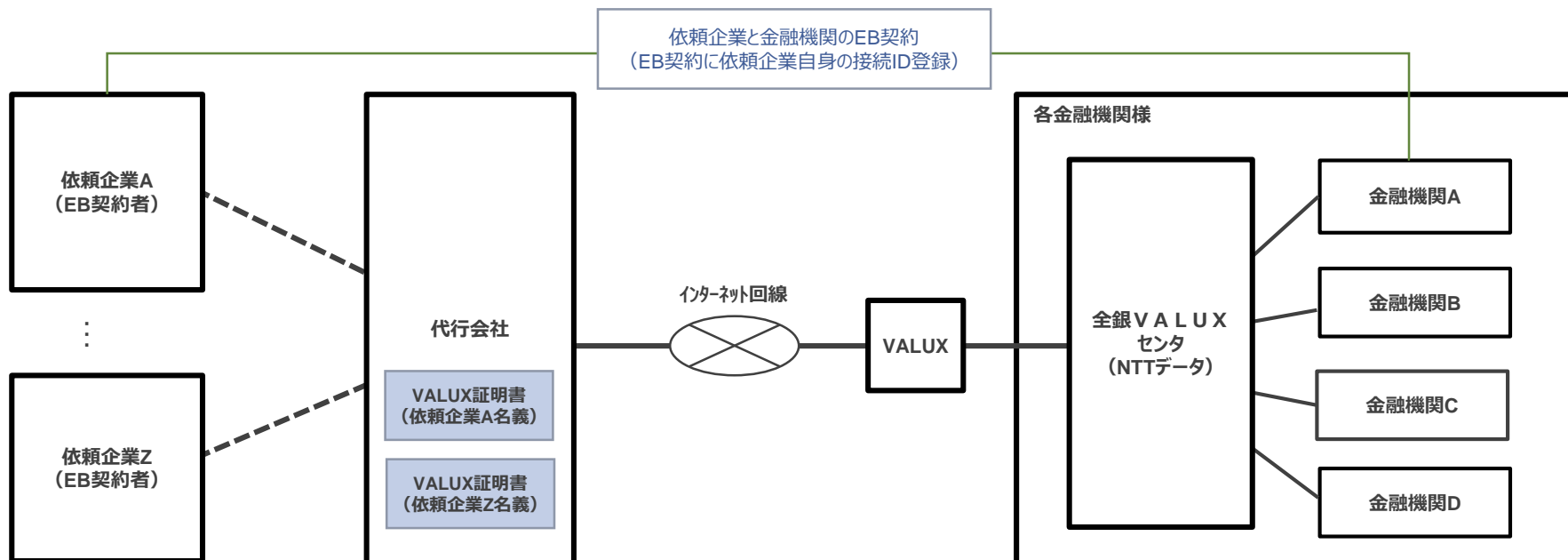
利用可能サービス：  



代行イメージ①では、  
「VALUX利用者 = VALUX契約者 = EB契約者」  
となります。  
こちらのスキームが基準となります。  
※ここでは「VALUX利用者 = 代行会社」

# 代行スキーム②「VALUX契約者：依頼企業 EB契約者：依頼企業」

## 利用可能サービス：



### VALUXサービス利用規約

#### 第20条 (なりすまし)

2 当社は、証明書取得情報等により取得した証明書により行われた本サービスの利用は、契約者により行われたものとみなし、契約者はその利用料その他債務を負うものとし、当社は契約者又は第三者に生じた損害は責任を負わないものとします。

### 詳細説明

依頼企業が契約されたVALUX証明書を業務委託契約に基づいて代行会社が利用される場合、「VALUX利用者」＝「VALUX契約者」とみなします。

したがって、このスキームにおいても、

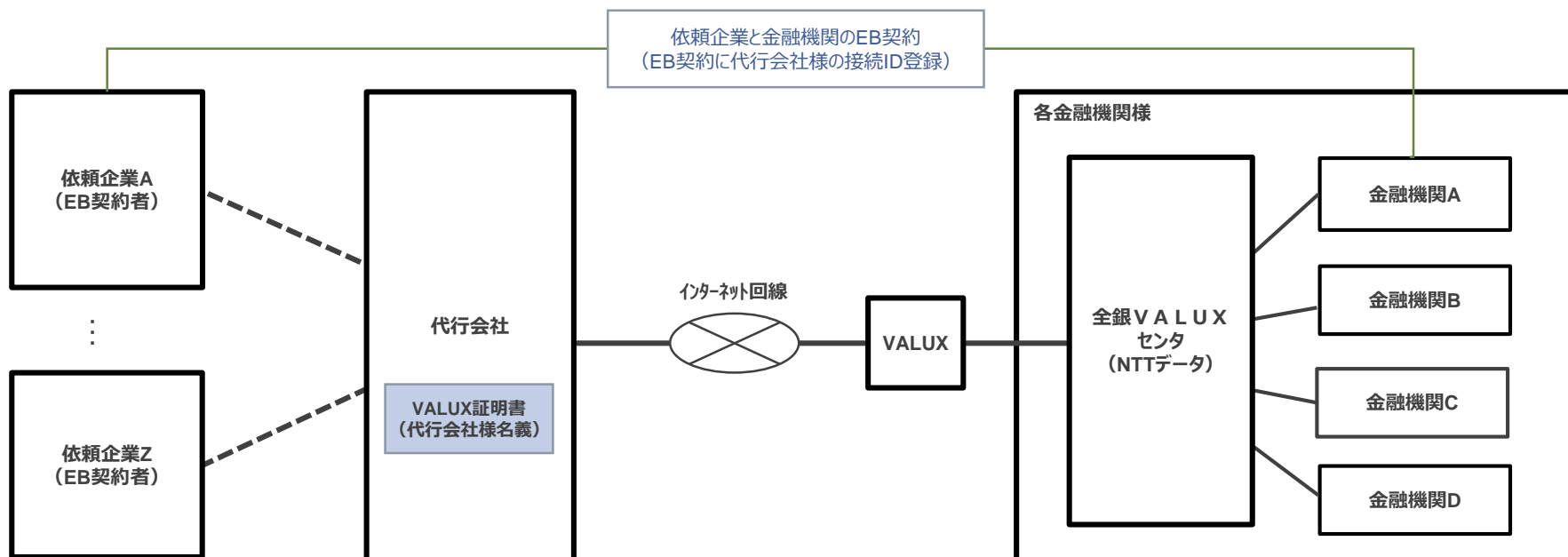
「VALUX利用者＝VALUX契約者＝EB契約者（代行イメージ図①）」とみなすため、VALUXはご利用いただけます。

弊社は、VALUXサービス利用規約に基づき、本サービスの利用はVALUX契約者により行われたものとみなし、責任は契約者である依頼企業が負うこととなります。

※ここでは「VALUX利用者＝代行会社」

# 代行スキーム③「VALUX契約者：代行会社 EB契約者：依頼企業」

以下のスキームではご利用いただけません。



## VALUXサービス利用規約

### 第20条 (なりすまし)

2 当社は、証明書取得情報等により取得した証明書により行われた本サービスの利用は、契約者により行われたものとみなし、契約者はその利用料その他債務を負うものとし、当社は契約者又は第三者に生じた損害は責任を負わないものとします。

## 詳細説明

金融機関のEB契約では、なりすまし防止のため、EB契約者自身の接続IDを登録するものと想定しています。

依頼企業が契約されたVALUX証明書を業務委託契約に基づいて代行会社が利用される場合、「VALUX利用者」=「VALUX契約者」とみなすことができます。しかしながら、このスキームにおいては、「VALUX利用者 = VALUX契約者 ≠ EB契約者」であり、「VALUX利用者 = VALUX契約者 = EB契約者」ではないため、このスキームはVALUXサービス利用規約違反に当たります。

※ここでは「VALUX利用者 = 代行会社」

## 代行会社がBizHawkEyeを利用する場合の制約

BizHawkEyeは、VALUX契約者とBizHawkEye契約者が同一でご利用いただくサービスになっております。

したがって、代行会社がBizHawkEyeを利用する際、VALUX契約者とBizHawkEye契約者が異なるとご利用いただけません。

代行利用していただく場合、代行スキーム①でご利用ください。